

平成 28 年 7 月 25 日

在留邦人の皆様へ

在マナウス日本国総領事館
領 事 部

治安情報「パルキ・デズ地区にて発生した強盗事件について」

1 事件の概要

7月24日（日）の午後5時頃、マナウス市パルキ・デズ地区アレシヤンドレ・マグノ通り（R. Alexandre Magno）に所在する在留邦人が経営するパン店にて、強盗事件が発生しました。拳銃を所持した3人組の強盗の内の1人（他2人は車内で待機）は店内に押し入り、店内にいた女性客より車の鍵を強奪、その後、レジにて現金を奪おうとしたところ、異変に気付いた警備員が駆けつけ店内にて銃撃戦となりました。犯人は警備員により射殺され、他2名の強盗は逃走しました（よって強奪被害はなし）。

2 総領事館からのお願い

万が一、被害に遭われた場合は、生命の安全を第一に考え行動して下さい。

- ・慌てず冷静に対処する。（極度の緊張は判断力の低下に繋がります。）
- ・相手の顔を直視しない。（抵抗と勘違いされないよう、ゆっくり動く。）
- ・反撃すると誤解されないように、相手に無断でポケットや鞆などに手を入れない。（両手を挙げた体制からポケットに指を指す工夫など。）

銃撃戦に巻き込まれた場合

- ・まずは「逃げる」。冷静さを保ち、安全な場所に退避する。
- ・もし「逃げる」ことができなかった場合、次に「隠れる」。犯人と自身の経路上に障害物を置き、伏せて身の安全を確保する。かつ安全を確保しながら退避するチャンスを伺う。（立っていると受ける面積も大きくなり、被弾する可能性も高くなります。）

以 上